

印鑑頼み - 狙われる預金（偽造・盗難でも窓口で引き出し）

< 朝日新聞 2003.6.6【家庭】 >

留守中に通帳を盗まれ、印鑑を偽造されて銀行窓口で預金を引き出される。そうしたピッキング被害者らが預金の返還を求めて銀行側を訴えている。通帳と印鑑さえあれば、免許証などを示さなくても払い戻す現状に「本人確認が不十分」という主張だ。住所の記載ミスがあっても支払われたケースを含め、被害対策弁護団には約 250 件の相談が寄せられている。今の世の中、銀行は「印鑑本位」の確認だけで十分なのだろうか。

確認不十分と集団提訴も

横浜市の男性会社員（59）が、特殊な工具で鍵を開けて侵入する「ピッキング盗」に遭ったのは 2002 年 2 月ごろ。法事で家を空けた際、茶筆筒から都市銀行の総合通帳 1 冊と印鑑、健康保険証が盗まれた。だが、部屋は荒らされず、盗難に気づいたのは数日後。現金自動出入機（ATM）を利用した時だった。

銀行の防犯ビデオに映っていた犯人の男は、会社員が口座を設けた支店を訪れ、まず普通預金 250 万円を、約 40 分後に定期預金 1500 万円をそれぞれ窓口で受け取っていた。

「引き出し伝票を見せてほしい。」と支店長に求め、確認すると、書かれていた住所は「十間坂」を「十間町」と間違えていた。筆跡も似ていない。支店長らに指摘すると「通帳と印鑑の照合ができれば本人確認したことになります。住所はチェック項目ではありません。」と答えたという。

「満期前の定期の解約で、額も非常に大金です。それが住所が間違っているにもかかわらず簡単におろされる。利息も期待できない今、銀行にお金を預ける理由は『安全』だからでしょ。」

会社員は対応に納得できず、2002 年 6 月、都銀を相手に預金の返還を求めて横浜地裁に訴え、現在係争中だ。

都銀側の弁護士は「コメントは控えたい」としている。

ピッキングによる窃盗事件が急増する中、こうした被害で銀行に対する訴訟が相次いでいる。

6月2日には、20人が12の金融機関に計約1億2千万円の返還を求め、東京地裁などに提訴した。

被害者を支援する「預貯金過誤払被害対策弁護団(03-5363-6707)」(団長・高見澤昭治弁護士)によると、集団提訴は3回目です。原告は計99人、被害総額は約7億円に上るといいます。

同弁護団は2002年9月、電話相談を行った。計105件のうち、1人500万円を超える被害が半数を占めた。

事務局長の野間啓弁護士は、高額被害の背景にペイオフの影響があるという。

「借用の高い銀行に預金を移し、どうせ低金利だからと定期にせず、普通預金に入れたままにしたものが盗まれている」

また、半数は偽造印で引き出されていた。

そうした状況があるだけに、銀行には本人確認の徹底を求めている。

「暗証番号を窓口で入力してもらっただけでも相当防げるはずだ。」と野間弁護士は話す。

「過失ない」と銀行側

一方の銀行側。本人確認について、ある都銀広報室は「丁寧にやれば時間がかかるし、家族が代わりにおろすこともできなくなる。お客様の利便性からみてどうなのか。」と反論する。

また、裁判に持ち込まれても銀行側は、届け出印と払戻請求書の印影を照合し、同じだと行員が判断したならば銀行に過失はない、とする過去の最高裁の判例などをもとに「免責」を主張。実際に勝訴事例も多い。

同弁護団の喜多英博弁護士は「はんこが簡単に偽造されたり、盗まれたりする時代に、はんこに過剰な信頼を置いていることで被害を増やしている」と、「印鑑本位」の本人確認の現状を問題視する。

同様の被害でも郵便貯金では、預金者の住所や氏名の記入間違いを見逃したケースなどで「本人確認が不十分だった」として全額を戻している。

日本郵政公社郵便貯金事業本部によると、公社内の犯罪などを取り締まる郵政監察官が判断ミスがなかったかを個別に調べ、「落ち度が認められれば原状回復している」と話す。

警察庁の調べでは、民家などへの侵入による預金通帳や頭金証書の窃盗事件は、2001年は1万65件あり5年前の5割増。

同弁護団への相談も約250件で、「週2、3件の報告があり収まる気配はない。」という。

[Top](#) > [Business Computing](#) > 銀行は事態の深刻さを認識しているか？

IT業界記者によるリレーコラム IT Business フロントライン (113)

銀行は事態の深刻さを認識しているか？

ネットバンキング不正利用事件の問題の本質

高橋智明

2003/3/28



いつの時代も銀行とは批判を受ける存在のようだ。最近もサービス手数料が問題となった。「100円を1円玉に両替すると、200円かかる。総理は、これをどう思うのか」と国会にまで取り上げられたのは、これまで無料だった東京三菱銀行の機械による両替サービス。また、大手各行が土曜日昼間の出金に手数料を課し始めたことも波紋を呼んでいる。庶民は低金利で苦しんでいるのに、値上げとは何事かとの論調が大勢を占めている。

手数料よりも重要な銀行の問題

しかし筆者は、こうした論点で銀行を批判するのは適切ではないと思っている。後で述べるが、銀行を批判するならもっと重大なことがある。そもそも、100円を両替しようが10万円を両替しようが、両替機の運営にはコストが掛かっている。同様に、土曜日だろが日曜日だろうがATMの運営にもコストが掛かる。こんなことを書くと「お前は銀行の犬か」と言われそうだが、筆者は他行ATMからの残高照会に課金しても良いと思っている。

ほとんどのATMは、NTTデータが運営するネットワークサービスのCAFISで相互に接続されている。他行ATMで残高照会や出金が可能なのはそのためだ。他行ATMからの残高照会でもCAFISを経由して通信が行われているため、その分の料金は発生している。だから相応の料金を取っても、正当であるはずだ。

コスト構造がそれぞれ違うはずの大手各行の手数料体系がほとんど横並びなのは問題だが、信用金庫や農協、労金まで含めれば日本には何百という金融機関が存在する。両替が無料なところあれば、土曜日に手数料を取らないところも探せばいくらでもある。大手行でも、一定額以上を預金していたり、年間いくらかの会費を支払えば、各種手数料が無料になるようなサービスもある。金融ビッグバン以前に比べれば、大幅にサービスの選択肢は増えている。批判を覚悟で言い切れば、銀行の手数料問題は、庶民と銀行の関係からすれば些末なものでしかない。

それでは何が重要なのか。読者の皆さんは、インターネットバンキングの不正利用事件と盗難通帳からの不正出金事件が最近、新聞をにぎわせたことをご記憶だろうか。

前者の事件の主な舞台となったのは、シティバンクのインターネットバンキング・サービスだ。犯人は、都内や神奈川県内のインターネット喫茶のパソコンにキーボードからの入力情報を自動的に記憶するソフトをしかけ、IDとパスワードを入手。複数の口座から約1600万円を、偽名で開設した口座に振り込ん

Business Computing

フォーラムスポンサー

Lotus software

リアルタイム・コラボレーションでビジネスを加速する。

[Lotusソフトウェア](#)

スポンサーメッセージ



企業を進化させる
オンデマンド時代の
コラボレーション

Lotus
software

詳細はこちら
→Click Here!

@business on demand.

ゲストさん、こんにちは

[ログインする](#) | [ヘルプ](#)

[プリンタ用表示](#)

[リンクをメール](#)

[会議室を見る / 書く](#)

[keepointで保存](#)

[IT用語・記事検索](#)

NewsInsight
Headlines

・NFLも導入、シスコのIP
コミュニケーション

だ。ネットバンキングサービスでは、多くの銀行はIDとパスワード以外に乱数表を使うなどして安全性を高めている。しかしシティバンクではこうした措置を取っておらず、IDとパスワードだけで利用できる点があだとなった。

IDとパスワードが正しければ正当な人物

筆者は昨年6月のこのコーナーでも、ネットバンキングの不正利用を取り上げた（[第85回 銀行界を震撼させたネットバンキング不正送金](#)）。実はあの記事に登場する銀行は、シティバンクだったのである。今回は内部犯行だったため多少は同情する余地があったが、今回は完全な外部犯行である。「シティバンクは前回の事件から教訓を読み取らず、十分な安全対策を取らなかった」と批判されても仕方がないだろう。

犯人たちは同様の手口で、ほかの銀行からも300万円を盗んだと供述している。また、ネットバンキングを不正利用して盗難に成功したのが今回捕まった犯人だけとは、とても思えない。ネットバンキングはもはや一部のネット好きだけが利用するサービスではなくなってきているだけに、ほかの銀行も「うちは方式が違うから」と安心しているべきではない。

盗難通帳の事件では、50名ほどからなる組織的なグループが摘発されている。リーダーは中国人で、ホームレスなどの日本人に清潔な服を与え、盗難通帳と印鑑を持たせて銀行の窓口で預金を下ろさせていた。外国人が日本人名の通帳で預金を下ろそうとすると、言葉で怪しまれるからだ。印鑑がなくても、通帳の印影（通帳に印影を表示していない通帳も増えてきている）をスキャナで読み取れば簡単に偽造できるという。

あまり大きく報道されることはないが、盗難通帳と偽造印鑑を利用した事件では、被害者と銀行の間で裁判が何件か起こっている。被害者は、「申請書に記入する名前や生年月日を間違えているのに、銀行は漫然と出金に応じている。被害金額を弁償しろ」と主張している。こうした場合、銀行は素直に弁償してくれるのだろうか？ とんでもない。銀行は、「正規の通帳と登録されたのと同じ印影を確認している。当行に責任はない」と突っぱねるのが普通だ。

通帳と印鑑、キャッシュカードと暗証番号、ネットバンキングのIDとパスワード。これらの組み合わせが正しければ、銀行は請求者を正当な人物と見なし構わない。約款上、そうになっている。だから裁判での銀行の主張は、妥当なものだとも言える。

本質はセキュリティに対する危機感の欠落

かつて銀行口座にからんだ不正といえば、通帳と印鑑を同じ場所に保管していたとか、キャッシュカードの暗証番号を誕生日と同じ数字にしていたとか、被害者にもそれなりの過失がある場合がほとんどだった。しかし最近の事例では、被害者にはまったく過失がないか、あるいは過失が軽微な場合でも、やすやすと預金を盗まれている。ITとデジタル技術の進歩のせいとも言えるが、銀行までこうした論にくみしては金融サービスのプロとしてあまりにも低レベルではないだろうか。

銀行が提供するサービスの中で、われわれ庶民の生活にとって最も重要なものは何か。それは、「まとまった額の現金を安全に保管でき、かつスムーズに必要な額を取り出せる」というサービスだ。これを実現できるのは、銀行しかない。想像してみてほしい。自宅にいつも現金で300万円を置いたまま、毎晩安眠できたり、日中に家を空けたりできるだろうか。

なにしろ銀行サービスの中で最も重要なサービスの安全基盤が、ちょっとし

・ [「ガートナー特別寄稿」収束の時代を迎えた基盤ソフトウェア](#)

・ [SASのソリューションがわかりやすくなった](#)

・ [empty portalを葬（ほうむ）れ！ プラムツリーのスイート製品](#)

・ [各社が競うストレージ仮想化技術、IBMはハードで実現](#)

・ [UPSをミッションクリティカルに、APC](#)

・ [“現実のMatrix” はリロードできない](#)

[ニュース一覧へ](#) →

自分戦略

@IT 研究所

-PR-

[不安を解消し、納得できる転職をするには？](#)

[シスコ認定資格の対策講座プレゼント16日迄](#)

[@IT自分戦略研究所へ](#) →

@ITハイブックス

-PR-

[XML Webサービスの技術習得をこの1冊で](#)

[サン認定技術者試験対策書き下ろし問題集](#)

[@ITハイブックスへ](#) →

@IT FYI

-PR-

[SIを究めたいエンジニアが選んだ道とは？](#)

[ウイルス対策のニーズに合わせた3つの回答](#)

[Present付レポートセキュリティセミナー](#)

[J2EEシステム開発、運用における課題とは](#)

[基幹系システムへの](#)

た知識があれば簡単に偽造できる印鑑や、あちこちのパソコンにソフトを仕掛けるだけで入手できるパスワードに依存している状態なのである。アナログ時代の現場しか知らない銀行の今の経営陣は、状況を十分理解していないのではないか。

筆者は安全性を担保する仕組みを抜本的に見直してほしいと思っているのだが、銀行、特に影響の大きい大手行の経営陣からそうした意識が伝わる気配はみじんもない。テレビや新聞は手数料の問題を過度にあげつらうよりも、経営陣の危機感のなさを追求すべきだ。銀行が安全対策を見直してくれるなら、両替に200円かかろうが、土曜日の集金に100円取られようが、微々たるものだ。預金額の大きい通帳をいちいち貸金庫に保管したり、印鑑の置き場所に頭を悩ませるのはもううんざりである。

追記：前回「[今年IP携帯電話に注目](#)」で取り上げたジャパンメディアネットワークの定額制IP携帯電話は、大方の予想通りサービス開始を8月に延期した。同社は3月18日にサービスデモを行ったが、通常の携帯電話をIP電話化するために必要な肝心の小型モデムを公開できないなど、サービスの実現性に大きな疑問が生じる結果となったようだ。

Profile

高橋智明（たかはしともあき）
1965年兵庫県姫路市出身。某国立大学工学部卒業後、メーカー勤務などを経て、1995年から経済誌やIT専門誌の編集部勤務。現在は、主にインターネットビジネスを取材している。

バックナンバー

[「IT Business フロントライン バックナンバー」](#)

@IT 新着記事

- ▶ [Visual Studio .NETによるチーム開発事始め](#)
- ▶ [データウェアハウスがもたらす真の顧客起点経営](#)
- ▶ [攻撃者のコードが実行されるIEの重大な脆弱性](#)
- ▶ [企業クライアントの更新における最適なIT投資法](#)
- ▶ [コレクションフレームワークを拡張するCollections](#)
- ▶ [.NET TIPS - .NET開発のテクニックとヒント集 -](#)
- ▶ [顧客データがすべて盗まれる？！](#)
- ▶ [オブジェクトの動的側面を見極める](#)
- ▶ [Windows Server 2003を利用したVPN導入テクニック](#)
- ▶ [Linux Tips](#)
- ▶ [Business & IT DataLinks \(IT業界データ集\)](#)

[ニーズを解決する方法](#)

[オラクルがOracle9i ASで真剣勝負を挑む](#)

[XMLで実現！ノベルのシングルサインオン技術](#)

[翼システムの考える、変革期に必要な人とは](#)

[多摩大学がデータマイニングに着目した理由](#)

[PDF×XMLで、何が
できる？何が変わる？](#)

[Web負荷テストの
押さえるべきポイント](#)

[新 WebLogic Server
のすべてを教えます！](#)

[BEA WebLogic Server
8.1Jはユーザーの夢](#)

[@IT FYIへ➡](#)



[Top](#) > [Business Computing](#) > 銀行界を震撼させたネットバンキング不正送金

IT業界記者によるリレーコラム

IT Business フロントライン (85)

銀行界を震撼させたネットバンキング不正送金 拡大するインターネットバンキングに暗雲

高橋智明

2002/6/21



1カ月半ほど前に表面化したある事件が、銀行界を揺るがせている。

警視庁は5月10日に、千葉県在住の31歳の会社員を逮捕した。容疑は、不正アクセス禁止法違反と私電磁的記録不正作出・同共用。この容疑者は、某外銀のインターネットバンキングを利用して、他人の銀行口座から合計370万円を知人の口座に振り込んでいたのだ。

日本初の不正送金事件

なぜ、こんなことが可能だったのか。容疑者はその銀行に派遣され、同行で働いていたことがあったのだ。この間に、顧客の口座番号や生年月日などの情報を盗み取った。暗証番号を生年月日と同じ数字に設定していた2人の顧客を探り出し、昨年10月から今年1月まで不正送金を続けていた。顧客が数カ月間も気付かなかったのは、入出金の頻度が少ない口座を選んでいたのである。

ネットバンキング絡みで、不正アクセスを試みようとしただけでなく実際の資金移動に成功するレベルにまで事態が進行したのは、日本ではこの事件が初めて。後述するように今後の展開によっては、銀行界の行く末にも少なからぬ影響を与える可能性がある。業界が恐れるのは、せっかく普及軌道に乗ったネットバンキングから、顧客が逃げてしまうことである。

ネットバンキングは、いったん不正利用されてしまった場合、消費者を救済する仕組みが脆弱であるという問題を抱えている。そのことは、ネット上でクレジットカードを利用する場合と比較してみると分かりやすい。ネット通販などでクレジット払いをする場合、カード番号と有効期限さえ打ち込めば決済手続きは完了する。この2つはカード上に明記されており、他人のカードでも入手はたやすい。その分、不正利用される危険性は高いといえるが、損害分は消費者ではなくカード会社（場合によっては店舗）が負担することがルールとして確立している。

これに対して銀行サービスでは、暗証番号を盗まれて損害を被った場合、原則的に銀行は免責される。銀行に責任が及ぶのは、顧客データの取り扱いや情報システムなどに過失があった場合だけである。

利便性と安全性をめぐる葛藤

今回の事件で、実際に損害分がどのように賠償されたかは明らかになっていない。まず責を負わなければならないのはもちろん容疑者であるが、彼が全額

Business Computing

フォーラムスポンサー

Lotus software

リアルタイム・コラボレーションでビジネスを加速する。

[Lotusソフトウェア](#)

スポンサーメッセージ



企業を進化させる
オンデマンド時代の
コラボレーション

Lotus
software

詳細はこちら
→Click Here!

@business on demand.

ゲストさん、こんにちは

[ログインする](#) | [ヘルプ](#)

[プリンタ用表示](#)

[リンクをメール](#)

[会議室を見る / 書く](#)

[keepointで保存](#)

[IT用語・記事検索](#)

NewsInsight
Headlines

・IPテレフォニー提案、顧客企業を口説くポイントとは？

を返済できない(こうした事件の場合、こうなる可能性は極めて高い)となると、銀行サイドに肩代わりさせることができるのかどうか。それは銀行にどれだけの過失があったかによるのだが、もし裁判になったとしても全額返済を勝ち取るのは難しいだろう(裁判になる前に、世間への影響を考えて銀行側が譲り、和解になるかもしれないが)。損害を弁償してくれる保険はあるが、すべてのネットバンキングが採用しているわけではない。もし不正利用が続けば、消費者保護の不十分さがクローズアップされる危険性があるのだ。

こうした事情があるだけに、銀行はネットバンキングの黎明期からとにかく安全性を重視した姿勢を貫いてきた。当初は専用のソフトをインストールしたり、デジタル証明書(ネット上で利用する実印のようなもので、たとえ暗証番号を盗まれたとしても、これが入っていないパソコンではサービスを受けられない)をダウンロードしたりしなければ、サービスを利用できない方式が主流だった。

しかし、インストールの手続きが複雑であるなど、あまりにも利便性を無視していたため利用者の評判は悪かった。そこで最近では、通常のブラウザを使い、IDやパスワードを打ち込むだけで利用できる方式が主流となっている。つまり、安全性に多少は目をつむっても利便性を高めようという方針に軌道修正し、ようやく利用者が急速に増え始めたところだった。そんな時期に、事件が起こったのである。

当然ながら、安全性と利便性はトレードオフの関係にある。今回の事件の原因とネットバンキングの方式変更に関連性はないが、利用者の意識が安全性をより気にかけるようになってしまうと、ある程度利便性を犠牲にした方式に変更を余儀なくされてしまうだろう。

後戻りを恐れる銀行界

ネットバンキングなどITを活用したサービスは、銀行の在り方を大きく変える可能性を秘めている。例えば1970年代以降、設置台数が急増したATMは、いまや個人取引の9割をこなすまでになった。機械にできることは機械に任せ、人間は資産運用の相談や住宅ローンの売り込みなどより付加価値の高いサービスに徹するわけだ。この流れはネットバンキングの登場でさらに加速している。

ある試算では、ATMでの1件当たりの取引コストは窓口の2分の1、それがネットバンキングでは10分の1以下にまで低下するという。残高照会や振込指示など現在はATMでこなしているサービスはネットに移行させ、ATMは入出金だけに使ってもらえるようになれば、銀行のオペレーションコストが劇的に低下するのは確実だ。それだけに、サービスのネット化を逆行させるような事態だけは避けたいというのが、銀行界のホンネだ。

ある邦銀のネットサービス担当者は「今回の事件は、あの銀行だからこそ起きた。当行ではあり得ない」と主張する。事件の舞台となった銀行では、いったん口座を開設すれば、ネットサービスの利用開始の申し込みは、オンラインだけで行える。これに対してほとんどの邦銀では、テレホンバンキングやネットバンキングの開始時に、いちいち書類を提出することを義務付けている。だから不正は起こりようがないというわけだ。

しかし、金融サービスに詳しいあるコンサルタントは、「今回の犯行は、内部の人間が起こしている。内部犯行の場合、書類で申し込みを受け付けていたとしても、社内のチェック体制に問題があれば、不正が起こる可能性は十分にある」と指摘する。銀行のネットバンキングの担当者はいま、第2、第3の不正送金事件が発生しないことを、真剣に祈っているに違いない。

・[効率的なJava開発、まずはコーディング規約から](#)

・[ゴスリング氏、「Project RAVEは開発ツールをより簡単にする」](#)

・[新社長に聞く、「Googleで働くには？」](#)

・[ジャストシステムを成長させるナレッジマネジメントツール](#)

・[四半期決算で重要になるIT資産管理](#)

・[PC管理を考え「インテルは1年間チップを変更しません」](#)

[ニュース一覧へ](#)➡

自分戦略

 -PR-

[転職はリスク、転職しないのもリスクの時代](#)

[シスコ認定資格の対策講座プレゼント16日迄](#)

[@IT自分戦略研究所へ](#)➡

@IT/ハイブックス

-PR-

[XML Webサービスの技術習得をこの1冊で](#)

[新刊：XML 基礎知識の試験に対応した1冊!](#)

[@ITハイブックスへ](#)➡

@IT FYI

-PR-

[Webサービス導入を阻む要因を一掃する](#)

[SIを究めたいエンジニアが選んだ道とは？](#)

[ウイルス対策のニーズに合わせた3つの回答](#)

[Present付レポート セキュリティセミナー](#)